

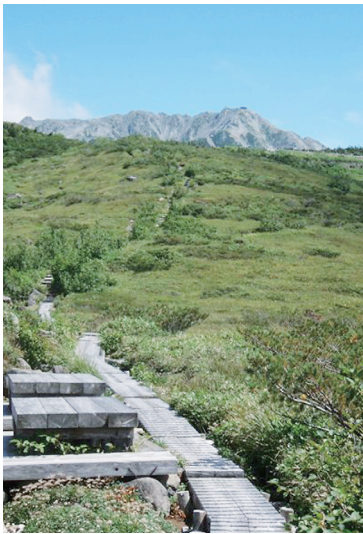


中部山岳国立公園 立山の魅力

立山自然保護官事務所 岸 秀蔵

中部山岳国立公園は昭和9年に国立公園に指定された最も歴史のある国立公園の一つです。新潟、長野、岐阜、富山の4県(約17万ha)にまたがり、北アルプスの雄大な山岳景観と渓谷美が特徴です。公園内にはブナ、スギ、カラマツ、コメツガ、シラビソなどの天然林や稜線上に広がるハイマツを中心とした高山植物など、手つかずの自然が多く残されているほか、ニホンカモシカ、ライチョウ、イヌワシなどの希少な動物も生息しています。

立山自然保護官事務所は、中部山岳国立公園の富山



弥陀ヶ原から天狗平にかけて広がる湿原

県側を管轄しており、後立山連峰から立山連峰にかけて広がる3km級の山岳地域と、その間を縫って深いV字谷となって流れ下る黒部川を含む、約7万haの範囲をカバーしています。管内には40軒以上の山小屋、300km以上の登山道や遊歩道があり、自然散策、トレッキング、縦走登山、沢登り、岩登り、春山スキーといった様々な利用が見られます。

私のお薦めコースは、富山県と長野県を結ぶ山岳観光ルートである立山黒部アルペンルート沿線に整備された「歩くアルペンルート」です。標高1,000～1,500mには、樹齢1千年を越すタテヤマスギや樹齢200年を越すブナの原生林が広がっているほか、標高2,000m付近に広がる弥陀ヶ原の湿原やアオモリトドマツの美林、標高2,500m付近に広がる室堂平のお花畑など見所がたくさんあります(今号の表紙も室堂平です)。中でも室堂平周辺は、ライチョウの生息密度が高く、北アルプスの中でも特に出会えるチャンスが多い場所です。立山黒部アルペンルートには年間約100万人が訪れますが、ツアーによる日帰り通過型の利用が多いので、ぜひ2～3泊して周辺の遊歩道などをゆっくりと散策してみてくださいはいかがでしょうか。



ライチョウの親子

立山自然保護センターに立ち寄って周辺の自然情報を事前に知ること、より興味深く「立山」を味わえることと思います。

立山自然保護センター

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1732/hogocenter.html>

Focus

NGO・企業 環境政策提言フォーラム

環境省では、民間からの政策提言を政策に生かすとともに、民間の政策提言能力向上を目的として「NGO/NPO・企業環境政策提言」を実施しています。今回は、56件の応募提言の中から優秀提言2件、優秀に準ずる提言3件を選定し、中部地方からは社団法人環境創造研究センター(愛知県地球温暖化防止活動推進センター)から提言のあった「新グリーン電力基金を活用した自治体による家庭の二酸化炭素排出量削減」が優秀に準ずる提言として選ばれました。

4月16日(水)には、環境省で「NGO/NPO・企業環境政策提言フォーラム」が開催され、提案団体自ら提言内容を発表し、選考に当たった委員の方々や参加者と意見交換が行われました。



あなたもごみ山にタックル

藤前干潟 '08 春のクリーン大作戦

汗ばむくらいの陽気となった5月17日(土)、名古屋市にある、国指定鳥獣保護区・ラムサール条約湿地藤前干潟や新川・庄内川河口で「'08春のクリーン大作戦」が行われました。



クリーン大作戦は、生き物の生息環境の改善や多くの方が安心して利用できる干潟や川づくりを目指し、市民、企業、行政などが協働でごみ拾いを行うイベントです。毎年、春と秋の年2回行われ、今回で8回目を迎えました。

今回は子どもからご年配の方まで、およそ750名の方々に参加していただき、45リットルのごみ袋で803袋のごみを拾うことができました。

皆さんも身近な場所から、環境のためにできることを探してみませんか?